

日本高齢期運動連絡会ニュース

発行責任者 藤谷 恵三 発行所 日本高齢期運動連絡会
〒164-0011 東京都中野区中央5-48-5 シャンボール中野504号
Tel/fax03-3384-6654 E-Mail nihonkouren@nifty.com
http://www.nihonkouren.jp

発行：毎月1日
2017年10月1日
No.326



9・22 「第28回東京高齢者のつどい」 =セッション杉並 (記事P7)

第31回日本高齢者大会in沖縄大会準備・各地地域大会進む

第31回日本高齢者大会in沖縄 大会の成功めざす
「^{ぬちどうたから}命どう宝 沖縄に 全国に 憲法が輝く平和な未来を」
9・27 「沖縄実行委員会第10回会議」開く
沖縄実行委員会

第31回日本高齢者大会in沖縄・沖縄実行委員会は9月27日(水)午後6時からとよみ生協病院6階で第10回実行委員会を行い、地域実行委員会や各団体から23人が参加しました。活動の到達について事務局と組織・企画・財政

の各委員会から以下のような報告があり、協議・確認しました。

①沖縄版参加者への「しおり」の協賛広告については、皆さんの奮闘で約400万円の目標を超過したこと。これにより参加者への1日千

円の補助と、沖縄県内の参加者用バス10台のメドがつかしました。追加の支出も増大しており、引き続き物品販売や、募金活動に奮闘します。

②参加者確認が遅れていて県内目標延べ1600人に対するまだ20%の到達です。参加訴えでは大会の内容と魅力を語ること＝特に本土から来る講師は社会保障や高齢者問題では第一人者で貴重な学習になること、県内講師も沖縄の第一線で活躍している人で、ためになり元気が出る企画ということを訴えようと意思統一。週報で確認を強めます。地域実行委員会に参加していない民主団体や沖縄医療生協・民医連の各職場の参加訴えを強めます。

③企画関係では、全体会の文化行事やプログラム、講座分科会や移動分科会の細部の詰めを行っていること。参加者に配る資料袋は、2500、県のパンフ「沖縄から伝えたい米軍基地の話Q&A」も2500確保しました。辺野古基地学習用として名護市発行のパンフも取り寄せました。

④要員については第一次登録9月29日の徹底と10月第一週に責任者会議を行うこと。要員の着用するビブスについて報告がありました。当日の速報づくりは和歌山の中北氏の援助をお願いする。また、DVD作成依頼に



についても論議しました。

⑤辺野古集会については音響設備、簡易トイレの設置を業者に依頼する。コンベンションセンター隣のマリーナ駐車場を確保、その他の駐車場確保を交渉している。

⑥後援では西原町が新たに決まったこと、政党からの来賓は玉城デニー衆議院議員の回答があったこと、沖縄県知事のメッセージについては引き続き追求していく。

討論では、北部、中部、那覇、南部の各地域実行委員会から活動報告があり、参加訴えを強めていること、地域のバス配車場所を選定していること等の発言がありました。

次回実行委員会は10月11日に行います。

(記 中山晴夫)

第31回日本高齢者大会in沖縄成功に全力を 9・11「高齢期運動推進事務局団体会議」 日本高齢期運動連絡会

日本高齢期運動連絡会は9月11日午前午後、高齢期運動推進事務局団体会議を開きました。事務局団体会議は13団体と事務局合わせて17人が出席しました。

◇

1. 報告事項-1)平成28年度介護付給付費等実態調査結果から、2. 確認事項-1)同日午前に行った事務局長・事務局次長・代表委員会報告では、(1)厚労省交渉報告

(2)第32回日本高齢者大会開催地について
(3)第31回日本高齢者大会in沖縄の準備状況について討議された報告がありました。

3. 協議事項-1)①沖縄実行委員会の準備状況について知念沖縄実行委員会事務局長から第8回会議報告、各地域実行委員会の取り組み、各専門委員会の報告がありそれぞれ確認作業調整作業をしながら準備を進めています。

次回開催 10月16日(月)

後期高齢者医療制度 「不服審査請求のつどい」を8地域で実施 神奈川県高齢期運動連絡会



保険料が昨年に比べ2倍にも

後期高齢者医療制度の保険料の「特例軽減」が今年から廃止され、所得の低い方の負担が増えました。神奈川県社会保障推進協議会、年金者組合神奈川県本部、高齢期運動連絡会の三者の呼びかけで、後期高齢者医療制度「不服審査請求のつどい」が8月28日の相模原市の会場を最初に県内8か所で開催されました。横浜市内で開催した8月31日のつどい（第1次）に13人が参加しました。内容について横浜社保協の阿部健司事務局長から以下のレポートが寄せられました。

台風の影響で朝から突然の雨や突風が吹くなか、年金者組合県本部を会場に、学習と不服審査請求実務のつどいを行いました。学習会では、「そもそも後期高齢者医療制度はどうして始まったのか」「この制度の年齢による差別を含む保険財政や運営などの問題点」「特例軽減措置廃止の内容について」など、不服申請行動の意義を学びました。

質疑応答で、「昨年と比べて保険料が2倍になって驚いている」「怒りがこみ上げている」という声や、「この程度の数の取り組みでいいのか、制度を廃止まで追い込まなければいけないのでは」など7人の方から発言がありました。改めて、制度の段階的な保険料特例軽減措置廃止の流れと今年の運動の意義、継続した運動の必要性について確認しました。

申請書の記入・提出準備には、神奈川県民医連からのサポーター援助も受け支障なく、全員で書類の作成を行いました。「9月20日に県内各地域の代表が、広域連合会事務局に提出を行う予定です。提出行動には多くの方に参加してほしい」と呼びかけ、「つどい」を終了しました。

「県広域連合議会」県社保協の陳情を不採択に!!

8月28日に開催された「神奈川県後期高齢者医療広域連合議会」に、県社保協は「特例軽減見直しの中止を求める意見書提出」と、「県広域連合議会として軽減特例見直しによる保険料負担増への軽減措置」を求める陳情書を提出しました。しかし、陳情は「不採択」とされました。

広域連合議会の議員定数は20人。今年3月まで日本共産党の議員は、みわ智恵美議員（横浜市）と石橋むつみ議員（三浦市）の2人がいましたが、8月の議会は、日本共産党の議員は、白井正子議員（横浜市）1人となりました。

県社保協の陳情に賛成し発言したのは白井正子議員のみで、他の議員からはなんの発言もなく「不採択」に同意しました。不採択の理由は、なんら明らかにされていません。

後期高齢者医療制度に関する審議は、県広域連合議会で行われますが、8月と3月の2回、それも2時間程度の開催です。特例軽減が廃止されたもとの「これでは保険料が払えない」「受診することもできない」という声が寄せられていますが、そうした後期高齢者の実態に背を向ける議会となっています。

県社保協と年金者組合、高齢期運動連絡会の呼びかけで、各地域で保険料に対する不服審査請求のつどいが開催されています。つどいに参加した後期高齢者から、怒りの声が数多く寄せられています。こうした声を広域連



合に届けようと、9月20日(水)午後1時か

ら横浜日経ビル2F会議室(横浜市中区本町1-2)で、各地域の高齢者から寄せられた後期高齢者医療不服審査請求書を県に提出します。

不服審査請求の運動の推進にとどまらずに、「高齢者の命と人権を守れ」と、後期高齢者医療制度の抜本的な改善を求める運動を広げていくことが求められています。

(「輝け高齢期」第264号より)

生きててよかったと思える社会を次の世代へ 9・16「第30回福島県高齢者大会」に 325人 福島県高齢期運動連絡会

第30回の節目のとなる福島県高齢者大会が去る9月16日いわき市で開かれ、会場の新舞子ハイツに県内各地から325人がつどいました。

午前中は人気の移動分科会を含む5つの分科会にそれぞれがのぞみ、学び、語らい、交流。東日本大震災の大津波で被災した沿岸部めぐりの移動分科会には希望者が殺到。マイクロバス2台を3台に増車し、塩屋崎、薄磯、豊間などを見学。①医療と介護②憲法でCafe③高齢者の暮らし④原発事故とこれからの4つの分科会のいずれでも発信者が相次ぎ中身の濃い学び合いと語らいの場となりました。

午後の文化企画では、20名を超える県立平商業高校フラガール部のみなさんが若さと元気あふれる踊りを披露。拍手と歓声が場内に響きわたり、フラガールのふるさといわきならではの出演に参加者全員が魅了されました。

また、「広がる『貧困と格差』の問題にどう挑むか」のテーマで記念講演に立った後藤道夫都留文科大学名誉教授は、自らの父も母も福島県人であることから「ふるさと福島」への熱い思いを込め講和。講演のレジメのほかに貧困の深刻な実態を示す詳細な資料集が全参加者に配布され、実の母親が一番多いとされる児童虐待の急増や2010年から2013年で急増した無貯蓄世帯の人口は今や1806万人、



男性の50歳時未婚率2015年には23.4%と4人に1人が結婚しない社会になってきている等々のデータに見入りながら後藤先生の話に耳を傾けました。

後藤先生は「最低保障年金をと語られるが、貧困と格差が拡大するなか、いくらがいいか定めようがないのでは。国民だれもが安心して暮らすためには、少なくとも社会保障、教育保障、居住保障が当然の社会にしていかなければならない」と強調しました。



まとめの全体会では、佐藤孝夫実行委員長が歓迎のあいさつとともに、「下流老人」「老後破産」「介護難民」など高齢者を孤独死に追いやる社会背景に言及。

「私たち高齢者はこのまま黙っているわけにはいきません。平和憲法を守り、子どもや孫たちが安心して暮らせる社会を次の世代に残していかなければなりません。『生きていてよかった、生きるって素晴らしい』と思えるような社会をつくるのが私たち“高齢者の責任”ではないでしょうか」と力強く呼びかけ、共感の拍手につつまれました。

全体会では、いわき市の上遠野洋一副市長が市長代理として来賓あいさつ。橋本憲幸県高齢期運動連絡会事務局長が沖縄での日本高齢者大会に参加する26人(郡山医療生協の独自ツアー10人を含め)への激励とともに、これからの活動について「佐藤孝夫実行委員長あいさつ、本日採択予定の大会宣言にのべられていることにつきるが、今後、情勢は総選挙がらみで推移する。それだけに、くらしや平和を守り、原発ゼロをめざすうえにも戦後最悪の安倍内閣退陣を正面にかかげずにはおれないのではないか」と語りかけました。

原発被害者訴訟原告団全国連絡会の訴え、次回開催地となる会津・喜多方の治田孝三代表の決意表明につづいて、①「生きていてよかった」と思える国の政治や地方自治②多くの高齢者と結びついた県内高齢期運動の前進と地方自治体とも協力して国の高齢者いじめの政策をやめさせる③福島原発全基廃炉、一方的避難指示解除や賠償打ち切り等の福島切り捨て許さず原発ゼロの日本めざすとした「大会宣言」を全員で拍手採択し散会しました。

参加者から「後藤道夫氏の講演はたいへん素晴らしいもの。政府・マスコミの言うことしか聞いていないと見通しがもてなくなりますが、きちんと自分の目で現実を見、資料を分析して解決すべき道を見出してみたい。よい刺激となった講演でした。フラダンスを踊ってくれた子たちの将来がもっと福祉の充実した日本になりますように」「フラダンスもすばらしかったけれど、後藤先生の話はすばらしかった。声をはりあげず、とても大切なことを話された。『最低保障年金』という言葉は知っていたけれど、具体的内容を説明していただいた。はじめてでした。よかったです。」などの感想が寄せられました。

なお、大会開催にあたって、今なお東日本大震災・原発事故対策に苦悩するいわき市、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町の7自治体といわき市の社会福祉協議会、医師会、老人クラブ連合会、商工会議所、さらに JF福島県漁業協同組合連合会、JA福島さくらいわき、いわき信用組合など16団体、NHKを除く新聞・テレビ・ラジオ等のマスコミ9社などが後援を寄せたことは、特筆すべきことです。

今回もまた 139の事業所・団体から協賛広告を寄せていただき、大会開催を財政的に支えていただきました。心から感謝申し上げます。

(記 橋本憲幸)

くらしの安心求めて

9. 19 「第13回三重県高齢者大会」に180人

三重県高齢期運動連絡会



●第13回三重県高齢者大会開催

会場：猪の倉温泉しらさぎ苑

台風一過の晴天に恵まれ県内各地から180人が集いました。

国会は風雲急を告げています。いよいよ衆議院解散も日程に。

来月は沖縄で日本高齢者大会が開かれ、55人が参加する予定です。各地からの報告は平和. 医療. 介護. 助け合い. まちづくり仲間づくりと幅広くアクティブ。今時の高齢者は元気です。

来賓は日本共産党中野様、三重県会議員の稲森様、三重労連高岡事務局長様、市民連合と野党共闘の重要性を訴えました。

メッセージは社会民主党様、三重県保険医協会様、新日本婦人の会様、三重県生活協同組合連合会様からいただきました。

●三重労連高岡事務局長は全労連主催の青年夏季セミナーで「この世界の片隅で」と言うアニメを観る機会がありました。

安倍政権の戦争法の危険性、戦争の本当の姿をしっかりと若い世代にも伝えていかなければと感じたと報告

●大阪本部の池尾書記次長の講演はやさしい大阪弁でとっつきにくい年金の話面白く解き明かしてくれました。

なぜ年金が減らされているのか、若い人こそ知ってほしい。

裁判運動も、5000人の原告の後ろに4000万



人の受給者が控えていること。年金の支払いを減らして、貯まった積立金を株に投資して国が我が国有数の大企業の大株主になっていること。

その元締めが安倍政権だと明確に指摘してくれました

採択した大会決議

- ①戦後最大の暴挙 安倍政権による「改憲」発議は絶対ゆるされません
- ②医療、介護、年金、生活保護の聖域なき改悪は直ちに中止させましょう

辻井実行委員長あいさつから

ウソとペテンの安倍内閣は国政を私物化し、国民の批判の前に行き詰まり解散。野党政党の分断を図る補完政党の動きにも注目がが必要です。社会保障の破壊で福祉を切り捨て、高齢者だけでなく、子育て世代や現役労働者の貧困化がすすんでいます。

安倍政権を退場させるチャンス到来です。

今がチャンス！ 学んだ力で政治を変えよう！ 9・22「第28回東京高齢者のつどい」 4分科会と全体会に 1,100人

東京高齢期運動連絡会

2年ぶりの「第28回東京高齢者のつどい」が9月22日、『ひとりぼっちの高齢者をなくそう！若者と高齢者は手をつなごう！いまこそ憲法を活かし、沖縄と連帯したたたかいを！』をスローガンに開催されました。

今回は、午前中に東京土建杉並支部会館とセッション杉並で、4つの分科会を行いました。

第1分科会は、「高齢者の願いと要求を実現する、地域連絡会づくり～その活動と課題」

第2分科会は

「ひとりぼっちにしない、させない～実践の交流と明日からできる取り組み」



第3分科会は、

「若者、現役は高齢者に何を思うか～世代間連帯と日本の再生」

第4分科会は、土建の組合員を中心に、地方自治研究会の池上洋通さんから「共に生きる社会をめざして～憲法70年を考える」と題して、講演してもらいました。

うたごえと沖縄舞踊に感激

全体会のオープニングの松平さんのトランペット。来賓は日本高連、東京母親連絡会、日本共産党に続いて、はじめて生活者ネットワークから前都議の西岡美津子さんのあいさつ、自由党の小沢さんからの連帯のメッセージが紹介されました

菅谷事務局長の基調報告は、時間の関係で短縮されたものになりましたが是非資料の本文を読んでください

沖縄舞踊、貫花（ぬちばな）とエイサー、うたごえの仲間の「浜辺のうた」「憲法9条五月晴れ」「すわりこめここへ」は参加者に大きな感激を与えました。

記念講演

これからの日本、これからのわたしたち

～憲法を守り、社会保障の充実

全体会の日野先生の記念講演では、なぜ社会保障の後退・削減が一体となって進められてきたのか、その基本には財界のなかで新自由主義の側が勝利した1995年の「舞浜会議」があること、社会保障は運動の中で前進し、成果が生み出されたものであり、新自由主義の流れを押し戻す国民運動が、今、野党共闘、市民運動によって前進しつつあることが強調されました。

（「東京高連ニュース」第20号より）

第31回日本高齢者大会in沖縄 本土からの参加者の皆様へ

本土からの参加者のバスは30台以上（沖縄県内別途10台）となる予定です。マイクロバスを含め以下ようになりますのでよろしくお願いします。（今後変更もあります）

「県名記載のバス参加票」をファックスしますので、A3又はB4に拡大し、必ずバスの前面に掲示して来場ください。

（1）第一日目 沖縄コンベンションセンター（以下沖縄CS）展示棟

<午後1時開場 2時開会 5時終了予定 物販店は12時ごろより随時>

○バス駐車場は沖縄CS西側のマリーナ駐車場です（大型30台可能・乗降のみの場合もあります）。那覇方面からは国道58号線宜野湾バイパス入り、沖縄CS手前です。ゲート（係員います）入り右奥、沖縄CSに隣接する場所予定。誘導要員の誘導に従ってください。駐車場で下車・乗車します。会場までは徒歩数分です。

○乗用車参加の方は沖縄CS内駐車場に入れます。第1駐車場（正門からに入る）入ってください。要員の指示に従ってください。

○全体会会場（展示棟・正面玄関側入り口）前で各県ごとの受付をします。人数分の資料袋を配布します。内容は沖縄版参加のしおり 沖縄県作成「沖縄から伝えたい米軍基地の話Q&A」 沖縄県観光パンフ 各種宣伝物 感想文用紙等

○物販店（沖縄土産 書籍等）は第一日目全体会のみ。沖縄国際大学は物販店無し。

（2）第二日目 沖縄国際大学

<午前8時開場 9時開会 12時終了>

○バス駐車場はありません。バス乗降について

沖縄国際大学前の県道に停めていただき速やかに降車してください。（大学構内には入れません）運転手さんに伝えて12時頃まで付近で待機をお願いします。講座分科会終了後、大学前の県道で乗車します。10分ごとに乗車時間を指定します。（当日指示）なお、大学内には食堂等はありません。

○乗用車の方は大学駐車場に入れます。第1駐車場（正門先）となっていますので現地要員の指示に従ってください。

○大学からはすぐ裏の普天間基地や米軍機墜落跡地を見学できますが、現地要員・当日の指示に従ってください。

○第一日目に資料袋もらっている方はそのまま分科会会場へ。

○移動分科会受付は3号館入口ロビーに設置 8時半までには受付してください。

○午後の中央実行委員会のバス予約されている方は3号館前に12時半集合を。

（3）辺野古集会 午後2時開会 3時終了

○集会会場は、国道329号線のキャンプシュワブ前を通過し、道の駅・大浦橋の先、瀬嵩の浜です。瀬嵩の浜入口前の国道で下車します（大変狭い場所ですのでご協力をお願いします）。駐車場は現在数台分確保していますが、困難な状況で付近に待機をお願いします。現地で指示します。こちらも終了後10分ごとの乗車となります。バス移動時間学習用名護市発行のパンフを配布する予定です。

※沖縄は10月末でも最高気温30度です。日中は半袖で十分です。また急な降雨（スコール）もありますので雨具もお持ちください。

気温の変化に気を付けて参加してください。